

4月 使い

化学物質規制(ラベル・SDS通知、リスクアセスメント実施義務)は、対象物質が改正前六七四物質に對し、改正後は国がGHS 11・0234)は、この分類で危険性・有毒性を確

あしかメデイ工業(東京都文京区、TEL03・3811・0234)は、この分類で危険性・有毒性を確

で、化学物質の付着を防ぐ範囲が大きい。手袋シールド部分(接合部)は、化学物質透過に対するリスクを考慮してダブルシール構造としている。

海洋研究開発機構ら

生分解性プラ

深海でも分解されることを実証

海洋研究開発機構、東京 域の深海平原(同五、五〇

大学、群馬大学、製品評価 三m)、日本最東端の南鳥技術総合研究所、日本バイ 島沖(同、五、五五二m)のオプラスチック協会は、生分解性プラスチック(ポリ乳酸を除く)が、神奈川県(同三浦沖(水深七五七m)、静岡県(同八五五m)、伊豆小笠原島弧(同二、二九二)、黒潮統流



有人深海調査船「しんかい6500」

り分解されることを世界で

初めて明らかにした。生分解性プラスチックの表面には無数の微生物がびつしりと付着しており、時間とともにサンプル表面に粗い凹凸ができて、生分解進行する様子が観察された。深海における生分解速度は、水深で遅くなるものの、全ての深海底で生分解されることも確認された。水深一、〇〇〇mの深海底では、研究で用いたレジ袋が三週間から二カ月間で生分解されることも計算によ

アキレス

こんにやく芋土壤消毒剤 (生分解性マルチフィルム)を

アキレス(東京都新宿区、03・5338・6

226)は、こんにやく芋の土壤消毒用生分解性マルチフィルム「ビオフ

にやく芋の栽培で使用される土壤消毒用マルチフィルムについて、PEフィルムから生分解性フィルムへの切り換えが検討されていた。こんにやく芋は病害に弱く、植え付け前の土壤消毒が不可欠。県内全体で相当量の消毒用PEフィルムが必要になり、使用後に発生する廃棄フィルムも大量となることから、生分解性フィルムの導入を検討していた。

従来の「ビオフレックスマルチ」は、使用期間を三〜四カ月に設定していたが、こんにやく芋の栽培で

り推定された。今回、菌叢解析およびメタゲノム解析により、深海底から生分解性プラスチックを分解できる新たな分解微生物を多数発見することにも成功した。発見した分解微生物は世界中の様々な海底堆積物にも生息していることが明らかとなり、分解が実証された生分解性プラスチックは世界中のいずれの深海でも分解されると考えられる。

CO₂排出削減に貢献

再生樹脂原料トヨテックシリーズPP,PE,PETのご用命並びに受託加工もご相談ください。



生分解性を調整